

学会記事

2007年度 第7回理事会 議事録

2008年1月18日

日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2007年12月15日（土）

10：00～12：00

場 所：北とびあ 901会議室

出席者：伊藤副会長・佃副会長、渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・上砂・狩野・公文・斎藤・中山・久田・藤本・宮下・向山 各理事、

新井田清信評議員会議長・保柳康一副議長、橋辺（事務局）

欠席理事：木村会長、倉本・矢鳥

* 成立員数（12/17）に対し、出席者14名、委任状3名、欠席者0名で、理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

・ 学術著作権協会より、再委託先の日本複写権センターからの2005年度受託刊行物複写使用料の分配にともなう個別使用料59,084円の配分の通知があった。

・ 学術著作権協会より、「限定的な電子化を許諾する権利」の委任契約更新依頼があった。

前回は2005年に委任契約をしているが、2007年6月に約款の修正が文化庁から承認されたので新約款に則り契約を更新する。

・ 消防庁より「平成20年度消防防災科学技術研究推進制度（競争的資金制度）」の公募案内があった。

・ 三菱財団より、平成20年度自然科学研究助成公募案内があった。

<他団体の会合、後援など>

・ 原子力総合シンポジウム2008（2008年5月）の共催を承諾、共催分担金5000円、運営委員として高橋正樹会員を推薦。

・ 第12回岩の力学国内シンポジウム（2008年9月2-4日）の協賛依頼を前回同様に承諾。

・ 富士山学会より「富士山に科学（学術）的説明看板を設置する運動」への参加依頼と富士山科学看板設置調整委員会の専門委員1名の推薦依頼があった。運動への参加を承認し、委員候補者に確認の上、返事を出すこととした。

・ 「第33回リモートセンシングシンポジウム」、「2007地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展」の終了御礼

会員関係（担当理事-中山）

1) 入会の承認（正2名，うち院1）井口亮・長友晃夫

2) 退会（正1名）吉谷昭彦

3) 11月末日会員数

賛助34，名誉74，正4,428（うち院272），準39，合計4,575（前年同期比 -196）

4) 会員名簿2007年版刊行，11月号と同時発送。

5) 会費長期滞納者（2004-2007）名簿回覧，入金がなければ3月末で除籍手続き。

自然史学会連合（斎木健一委員）

斎木委員の次年度継続について，本人引き受け用意あり。継続を依頼する。

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

・ 連合地学オリムピック小委員会（久田）地学オリムピックの概要について説明があった。

会計関係（担当理事-向山）

・ 11月までの一般会計収支計算書，札幌大会会計報告があった。

2. 学術研究部会（部会長-公文）

行事委員会（斎藤委員長）

秋田大会の準備の現状報告。

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

・ タイ地質学会からAnnual Meeting（2008年3月21-22日）の招待状があった。会長の都合について，伊藤副会長から確認する。

・ タイのチュラロンコン大学理学部地質学教室創立50周年記念国際会議（アジア地域の地球科学資源と環境に関する国際会議）の後援依頼が日タイ小委員会の久田世話人を通じて寄せられた。承諾することとした。

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下=企画担当）

・ 12月24日現在の編集状況報告

Island arc編集委員会（担当理事-Wallis，事務局長-竹内圭史・角替敏昭）

・ 地質学会News誌の10月号表紙写真にアイランドアークの印刷前の写真が掲載された件について，アイランドアーク賞選考委員会発足などについて報告された。

Island arc連絡調整委員会（委員長-会田，担当理事-Wallis）

・ 2008年度科研費の申請を取りやめることとなった事情，ならびに今後のオンライン閲覧などについての報告があった。

4. 普及教育事業部会（部会長-矢鳥，藤本）

5. その他

法務委員会（担当理事：委員長-上砂）

・ 12月14日に委員会を開催し，学会内で起こりうる利益相反行為について審議した。

6. 選挙管理委員会（委員長-加藤潔）

・ 投票は12月15日で締め切り，開票は12月17日9時よりおこなう。

7. 地質の日委員会（藤本委員）

・ パンフレットの印刷と，地質の日を日本記念日協会に登録することを企画

パンフレット印刷代として8-9万円，記念日協会への登録料が5万円。これらについては，実行委員会に参加する機関で応分に負担の予定。

○審議事項

1. 女性地球科学者の未来を考える委員会からの委員会名称の変更願いが提出され，評議員会で審議することとした。

新委員会名：男女共同参画委員会

2. 就業規則委員会よりの中間答申があった。

3. 来年度事業方針案，来年度事業計画案，予算計画案の提示

会長および会計担当より素案の説明があった。

4. メール審議の確認

1) 07年度各賞選考検討委員の編成承認

木村 学・斎藤靖二・嶋本利彦・平朝彦・磯崎行雄・狩野謙一・渡部芳夫・石渡 明・Simon WALLIS・小川勇二郎・巽 好幸

なお，理事会推薦委員2名は伊藤副会長，08年度会長選挙当選者を推薦することとした。

2) 理事会の下の3賞（学会賞，国際賞，小澤儀明賞・柵山雅則賞）の推薦委員会の委員編成を承認。今回は時間的な余裕がないので，委員の個人的な推薦を求めることとした。

○日本地質学会賞推薦委員会委員

磯崎行雄 平朝彦 嶋本利彦
加々美寛雄 鈴木和博 伊藤谷生
巽 好幸 丸山茂徳 板谷徹丸
斎藤常正

○日本地質学会国際賞推薦委員会

平朝彦 永原裕子 岡田尚武
奥村晃史 木村 学 北里 洋
久城郁夫 千木良雅弘 中田節也
藤井敏嗣 松岡俊文 松本 良
磯崎行雄 嶋本利彦 加々美寛雄
鈴木和博 伊藤谷生 巽 好幸
丸山茂徳 板谷徹丸 斎藤常正

○日本地質学会小澤儀明賞・柵山雅則賞推薦委員会

天野一男 新妻信明 牧野泰彦

平 朝彦 徳山英一 高木秀雄
榎並正樹 中川光弘 横田修一郎
楡井 久 升本真二 平山 廉
吉川周作

2007年度 第8回理事会 議事録

2008年1月18日
日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2008年1月12日（土）

12：00～17：00

場 所：地質学会事務局

出席者：伊藤副会長・佃副会長、渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・狩野・倉本・斎藤・中山・久田・向山・矢島 各理事、橋辺（事務局）

欠席者：木村会長、Wallis・公文・宮下・藤本

*成立員数（12/17）に対し、出席者12名、委任状5名、欠席者0名で、理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

<他団体の会合、後援など>

・富士山学会よりの富士山科学看板設置調整委員会の専門委員1名の推薦については、高橋正樹会員の承諾が得られ、推薦した。

・日本ジオパーク連絡協議会（会長-米田徹糸魚川市長）が設立された（12月26日）、学会宛に「ジオパーク推進に関わる要請書」が寄せられた。

・平成19年度学術振興会賞の決定通知があった。地球科学系（地学）の受賞者はなし。次回の推薦依頼は4月を予定。

・平成19年度沖縄研究奨励賞受賞者の決定通知があった。本会推薦の井龍会員は残念ながら受賞にはいたらなかった。

会員関係（担当理事-中山）

1) 入会の承認（正2名）Rehman Hafiz Ur 渡辺敬三

2) 退会（正1名）李 京昌

3) 逝去（正2名）福田正光（2007/12/8）長田幸久（2007/12/7）

4) 12月末日会員数

賛助34，名誉74，正4,425（うち院273），準39，合計4,572（前年比 -60）

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

・連合地学オリンピック小委員会（久田）現在、国際地学オリンピック日本委員会の設立が検討されている。

地質学会としてサポートする。

学術会議関係報告（木村会長=連携会員）

会計関係（担当理事-向山）

・08年度予算案及び関連事項について2008年度事業計画（素案）が提示された。4月評議員会を日途として内容を検討する。

2008年度事業方針との対応で調整する。

・アイランドアークの出版にかかわる予算について継続的に検討必要。

・秋田大会開催にかかわる予算について検討。参加者を600名としてシミュレーションをした。

・故秀 敬名誉会員のご遺族から、ご寄付があった。

広報委員会（担当理事-倉本）

インターネット運営小委員会（委員長-坂口有人）

・新システムによるメーリングリスト機能の修正・改善をおこなった。会員番号（ID）がメール本文中に表示される不備については、修正作業中。

・MLシステムの改善を理事会からさらに要請した。

2. 学術研究部会（部会長-公文）

行事委員会（斎藤委員長）

・秋田大会については、鉱物科学会とは同時開催であるが、実質的な共催としたい。

・2月に斎藤委員長が秋田大を訪問し、巡検、参加費などについて打ち合わせをする予定。

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

・日-タイ小委員会の発足（委員：久田健一郎・上野勝美・仲谷英夫・曾根正敏・脇田浩二）

・日-モンゴル小委員会（委員：東田和弘・坂巻幸雄・大藤 茂・高橋裕平）

・日-フィリピン小委員会（委員：松岡篤）

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下=企画担当）

・今月の編集状況は以下の通りです（1月11日現在）。

114-1月号：論説2・短報2・口絵1（約50ページ+校正中）

114-2月号：論説3・短報2・口絵1（入稿準備中）

・2007年度投稿論文総数81編〔論説55（和文54+欧文1），総説7（和文7），短報13（和文12 欧文1），ノート4（和文4），報告2（和文2）〕口絵9（和文6 欧文3）※うち61件が電子投稿

投稿数昨年比 -21 査読中 46編 受理済み 6編（うち 教育特集4）

・2008年度度投稿論文総数3編〔論説3（和文3）〕

Island arc編集委員会（担当理事-Wallis，事務局長-竹内圭史・角替敬昭）

1. 2007年出版結果

2007年16巻の年間契約ページ数576（～最大620）p.

1号 Pictorial 1編，特集6編，一般8編。210p.（科研費18年度計画 540p に対し560p）

2号 一般7編。108p.

3号 フィリピン海特集7編，一般5編。186p.

4号 Pictorial 1編，一般5編。102p. 年間606p. 契約に基づき2008年から30p前借り。

2. 2008年編集状況

2008年17巻の年間契約ページ数は620p（07前借り30pの件は要確認）

2号 Pictorial 1編，一般10編，181p.

WEB公開済み（科研費19年度計画 700pに対し577p見込み）

2号 手持ちPictorial 1編一般原稿3編。2月下旬入稿を予定。

3. 特集

フィリピン海特集：Guest Editors小原・徳山・Stern

7編を16-3号掲載。もう1編を一般論文として掲載予定。

板谷特集：GE板谷・Sajeev・Wallis

6編受付済み，うち受理1編をWEBで先行公開済み。掲載は17-3号か？

久田特集：GE久田・Yumul（IGCP 516）

全24編受付済み，うち5編受理。17-4号・18-1号分割掲載を予定。

HKT（ヒマラヤ）特集：GE Wallis・Aitchison・Ali

全7-8編に変更，7編受付済み。掲載は18-3号以降になる。

08年集会の特集の打診も来ている。

寺林特集：GE寺林 6編予定

4. 中期的投稿状況

07年12ヶ月で新規投稿97編（特集10+6+24+7編，一般46編，口絵4編）。一般に限っても十分な投稿が集まっている。

MCへの登録：12月末時点で約670名（著者360余名+査読者220名+編集委員75名（新旧含む）+特集GE4名）

5. ・AOGS（June 16-20, 2008 in Busan, Korea）のセッション

[SE58] Permo-Triassic Collision, HP-UHP Metamorphism and Tectonic Exhumation along the East Asian Continental MarginのIsland Arc特集企画をConvener Prof Ernstに提案（石渡前編集委員長）。前向きに検討するという返事だった。

Island arc連絡調整委員会（委員長-会田，担当理事-Wallis）

・1/10付けで、学振にアイランドアーク刊行状況報告を出した。

・2009年以後のOnline閲覧費用について